

「和歌山県事前通行規制の見直し検討委員会」 キックオフミーティングを開催します

和歌山県では、県管理道路において、1972年以降に異常気象時の事前通行規制区間(74区間、延長約700km)を指定し50年以上が経過しています。

その後、道路整備や法面の防災対策の進展などに伴い、既存の規制基準と道路災害発生危険性の乖離が生じていることや規制に伴う社会的影響などの諸課題を踏まえ、事前通行規制の見直しを行うため学識経験者による委員会を設置し議論を始めます。

(会議について)

1. 日時 : 令和7年1月28日(火) 15時30分～
2. 場所 : 和歌山県自治会館3階 304会議室
(和歌山県和歌山市茶屋ノ丁2-1)
3. 委員 : 別紙1のとおり
4. 議事 : 別紙2のとおり
5. 取材 : 当日取材を希望される方は会場にて当日15時00分から受付を行います。カメラ撮影、取材は別紙2の委員長挨拶までとさせていただきますので、ご了承願います。

なお、議事の概要(各委員からの主な発言内容等)については、後日資料提供を行います。

(連絡先)

県土整備部道路局道路保全課

担当 : 前、天野

電話 : 073-441-3119 (内線 3119)

和歌山県事前通行規制の見直し検討委員会

委員名簿・研究概要

(◎：委員長、敬称略)

◎多々納 裕一

京都大学防災研究所 教授 (災害リスク管理)

(主な研究内容)

総合防災学の確立に向けて、災害の社会経済的影響評価、災害リスクの軽減のための意思決定に関する方法論

小山 倫史

関西大学 教授 (地盤・岩盤)

(主な研究内容)

地震・降雨に起因する地盤災害に対する防災・減災に関する研究

山口 弘誠

京都大学防災研究所 准教授 (水文気象)

(主な研究内容)

豪雨災害に対する水文気象学的戦略の構築

議 事

1 開会

2 挨拶

和歌山県県土整備部長 福本 仁志

3 委員紹介、委員長挨拶

・出席委員

多々納 裕一 京都大学防災研究所教授

小山 倫史 関西大学教授

山口 弘誠 京都大学防災研究所准教授（WEB）

・委員長挨拶

多々納 裕一 京都大学防災研究所教授

4 議事

①事前通行規制区間が全国的に導入された経緯と
和歌山県の事前通行規制区間の状況

②見直しに関する基本的な考え方

- ・過去20年間の降雨と災害発生など経験則に基づく検証
- ・規制に伴う広域迂回による経済損失などの検証
- ・安全性と経済損失、社会的影響のバランスに配慮した規制のあり方など見直しの方向性について議論を行います。

③上記を踏まえた見直し検討フロー

④今後のスケジュール

- ・今後、委員会を3回程度開催し、令和7年度中にとりまとめ

5 閉会